

教育基本法
改悪法案

井上参院議員、特別委で廃案を要求
安倍総理、伊吹文科大臣に質問

11月22日、参院教育基本法特別委員会にて総理出席、テレビ入りの総括質疑が行われ、井上さとし参院議員が質問に立ちました。

井上議員は、現行教育基本法の「人格の完成」という目標の重要性について総理の認識を確認した後、教育

現場にある逆行する実態を指摘しました。学力テストと学校選択性を導入している東京のある区では、遠足や林間学校、音楽鑑賞が削られて学力テストのための補習授業に

訂作業のなかで、小学校の音楽を学ぶ目標として「君が代」の美しさや自国を尊重する心が検討されていることをあげ、「君が代」と「こころ」を結びつけるのは「思想・良心・内心の自由を侵すものだ」と追及しました。伊吹大臣は「検討途中のもの」といいわけしましたが、井上議員は、「憲法に反するような検討は許されない」と批判しました。



安倍総理を追及する井上議員(22日)

井上議員が、「こんな事態が全国に広がるのは好ましいのか」との質問に安倍総理も「遠足や林間学校は楽しい思い出にもなる。テストの補習のために中止されるのはよくない」と答弁。井上議員は、教基法改悪で競争と選別が強化されれば、受験に無関係な分野が削られ、義務教育にも未履修問題が広がると指摘し、改悪案の廃案を求めました。



11月24日、静岡市清水区の「党と後援会」のつどいに400人が参加。井上参院議員が国会情勢を講演。花井県議、山崎由比町議、笹川富士川町議、ひらが選挙区候補が訴え、選挙勝利へ決意を固めあいました。

昭憲
衆議院議員
佐々木憲昭

「過払い金利」は
即時返還せよ!

11月22日、佐々木憲昭衆議議員は、財務金融委員会にて質問し、「過払い金利」は即時返還せよ!とサラ金問題をただしました。

佐々木議員は利息制限法の上限を超える金利について、「サラ金業者はすぐにでも自主的に返還するのが当然。返還請求できることを国民に広く知らせるべき

だ」と政府に要求しました。山本有三金融担当大臣は「弱者の立場でしっかりとやっていく」と答弁しました。



11月24日、党静岡県委員会は、介護問題で政府交渉を行いました。交渉に、ひらが選挙区予定候補、かわせ幸代県議予定候補、河本静岡市議が参加、佐々木憲昭衆議院議員、瀬古由起子元衆議院議員が同席しました。

佐々木議員はまた、サラ金各社が利用者からの過払い金返還請求に備えて、引当金を積んでいると指摘し、「大手4社の合計で1兆円も用意している。アイフル社長は、参考人質疑で『誠実に対応する』と答弁している。全部返して当然だ」と指摘しました。

山本金融担当大臣は、「業者が誠実に対応するといつなら、その方向で進めていただきたい」と答えました。

サラ金大手4社は、銀行から約3兆円も融資を受け、銀行はこれで年間5百億円も収益をあげています。

佐々木議員は、「銀行は個人向けの融資を後退させながら、他方で客を提

携先のサラ金から借りるように誘導している。金融機関の公共的な性格をどう考えるか」とただしました。山本大臣は「社会的責任という観点も重要。多重債務問題の発生を踏まえ、各行はローンのあるべき姿を真摯に検討していただきたい」と答弁しました。また、佐々木議員は、11月28日の財務金融委員会にて、警察はヤミ金取り締まりを徹底すべきだと質問。竹花警察庁生活安全局長は、「積極的な事件化と被害防止に努めるよう指導する。弁護士や相談機関も紹介しながら、相談者の立場に立った対応をしたい」と答えました。



多重債務問題で質問する佐々木憲昭議員(22日)